

1 学年通信 マル

練馬区立石神井西中学校
令和3年1月29日(金)
第47号

基本を大事に

3学期が始まり3週間。学校生活のリズムも取り戻し、部活動や委員会活動はないもののいつもの学校生活に慣れてきた頃です。そんな生活の中で改めて気をつけたいことが出てきました。

- ①廊下を走らない。
- ②大きな声を出さない。
- ③バッジを毎日左胸につける。
- ④あいさつをきちんとする。

1年生に限らず、最近校舎内を走ったり、大声をあげたりする様子が見られ、学校全体で注意喚起をしているところです。1年生の中にも、廊下を走ったり職員室前で騒いだりして注意された人がいると思います。また、バッジ忘れ(忘れても借りに来ない)やあいさつの声が聞こえないという状況もみられます。これは、1学期や2学期にはきちんと出来ていたことです。**良い状態を保つ**ということは、実は**とても難しい**と実感していますが、ここでこそ1人1人の力が試され、それが学年の力になるのではと思います。今までできていた**基本を大事に**過ごしていきたいです。本校の校訓にある「**自治**」(自分たちに関することを自らの責任において処理すること)に繋がる大事な部分です。

手話指導講座

28日(木)手話指導講座を実施しました。練馬区聴覚障害者協会と手話サークル練馬こぶし会の方々を講師にお招きして、聴覚障害についてやコミュニケーション方法、体験談などをお話し(手話と通訳で)していただきました。その後、いくつかの手話を教えてもらい実際にみんなでやってみました。質問にも丁寧に答えていただき、**障害のある方々を理解するための大変貴重な機会**となりました。



「石」



「神」



「井」



「西」



「中」



手話で「石神井西中」のやり方を教えてもらいました。それぞれ漢字の意味を表現しているものもあって、とても興味深かったです。

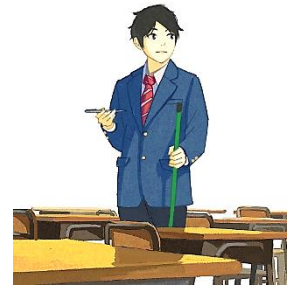


手話体験の時間には、各クラスの代表者が舞台の上で手話による自己紹介をしてくれました。緊張したと思いますが、みんな練習してきた手話をきちんと披露することができました。ありがとう。

道徳授業 ～よりよく生きる喜び～

27日(水)の道徳授業では、友達のシャープペンシルを拾って自分のものにしてしまったことを言い出せなかった生徒の物語を通して、自分の心の弱さを見つめ、改めることの大切さについて考えました。生徒たちは主人公のもつような「弱さ」や「ずるさ」が自分の中にもありそうだと感じながら、自分に置き換えて考えることができたようです。ぜひご家庭でも、どんな話だったのか詳しく聞いてみたり、何を感じたかなどを聞いてみたりしてください。

大人は、つい子どもの至らなさを指摘してしまいがちですが、子どもが自分の弱さやずるさを認められる働きかけや、弱さを乗り越えた時の強さを認めてあげることが大人にとって重要なことだと感じます。



今日の授業で考えたこと ～生徒の考えを一部紹介します～

- ◎ 人間は焦ったり、危機を感じたりすると弱いところが見えるというのが分かりました。でもその弱さを人にぶつけて周りの人の迷惑になるようなことはしてはいけないというのを考えました。
- ◎ ときにはうそをついてしまったり、ずるをしてしまったりすることもあるけれど、その弱いところを自分で見つめ直して成長していくことが大切だと思った。後悔しないためには正直に生きることも大切だと思った。
- ◎ 人の心には弱いところがあって、また強いところもあるということが分かった。

柔道授業の様子



↑授業の最初と最後には「黙想」で心を落ち着かせます。精神統一の意味もあります。



↑「礼に始まり礼に終わる。」相手への敬意や礼儀を重んじることの大切さを学んでいます。

タブレット（クロームブック）のパスワードについて

来週月曜日(1日)の1時間目にタブレットの配布をします。その後、利用方法の確認や初期設定を行います。パスワードの設定をしますので、各自8文字以上のパスワードを考えておいてください。英語・数字が使用できます。英語のみ数字のみでも良いですがあまり簡単すぎると設定できません。決めたパスワードは人に言わないように、また、忘れないようにしてください。メモに残す場合も、家で保管するようにしてください。



来週の予定

1(月)	6時間授業 ①学活 タブレット配布・利用方法確認
2(火)	6時間授業
3(水)	5時間授業 ⑤道徳
4(木)	6時間授業 ⑥総合 練馬の魅力学習 発表準備①
5(金)	6時間授業 ⑥総合 練馬の魅力学習 発表準備②